

熱中症に
つが注意を!



熱中症予防啓発 取組事例集

令和元年度 消防庁作成

1 行田市消防本部（埼玉県）

【熱中症予防推進大会における消防職員による寸劇】



具体的内容

平成25年度から大会を開催し、平成27年度から企業が協賛となり著名人を講師に熱中症予防講座を開催している。また、平成27年度から消防署にも熱中症予防に関するPRを兼ねた寸劇の依頼があり、舞台上で15分程度の寸劇を演じている。開催ごとに異なるが、200～500名の参加がある。

取り組みに至る経緯

平成24年に行田市内で発生した熱中症による2件の死亡事故を契機に、熱中症に関して対策を講じるべく行田市保健センターが発案したもの。

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

できるだけ多くの方に参加していただけるよう参加を募っているが、依頼する著名人の認知度により来場者の変動があるため、工夫が必要。

2 四国中央市消防本部（愛媛県）

【ケーブルテレビを使用しての熱中症予防啓発番組の作成】



具体的内容

平成29年度に「消防防災通信 熱中症を予防しよう！」と題しケーブルテレビと当市マスコットキャラクターを使用した熱中症予防啓発番組を制作し、以後予防時期に繰り返し放送。

取り組みに至る経緯

例年、各種救急講習や、イベント開催時には熱中症予防啓発パンプレットの配布や呼びかけ、指導等を実施していましたが、平成29年度、幅広い世代へ親しみやすく理解して頂くために、地元ケーブルテレビと協働で、当市のマスコットキャラクター（しこちゅ〜）を使用し、「熱中症予防啓発番組」の制作を行いました。

コスト

0円

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

消防職員だけの出演でなく、マスコットキャラクターを利用する事により、子供から大人までの幅広いニーズに好感がある番組となると思います。

3 西はりま市消防本部（兵庫県）

【ケーブルテレビ(佐用チャンネル)を活用した熱中症予防広報】



内容と取り組みに至る経緯

「熱中症予防広報の強化について」消防庁救急企画室長から通知があり、従来では掲載紙やポスター、救急講習等での熱中症予防広報を行ってきましたが、さらに多くの方々に広報する手段が他にあるのではないかと検討した結果、当該消防署が管轄する地域限定で放送されているケーブルテレビに目を付けました。

それに加え、市民の方々がより興味の湧くものにするため、トライやるウィーク中の中学生にも出演協力してもらい、予防広報の短編PRビデオを昨年度に作成しました。

コスト

当該消防署が所有するビデオカメラを使用し、編集については役所広報課が所有する編集ソフトを使い作成しているため、コストはかかっていません。

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

対象を定めたビデオ制作が重要です。(高齢者向け、児童向け等。)

4 甲府地区広域行政事務組合消防本部（山梨県）

【クールシェア・スポット開設】



具体的内容

消防本部（南消防署）ロビー及び中央消防署会議室の2か所をクールシェア・スポットとして開設している。開設時間は、基本的に開庁時間としている。また、甲府市のHP上にクールシェア・スポット一覧が掲載されており、広く周知をおこなっている。

取り組みに至る経緯

甲府市や山梨県から開設の要請があり、協力することとなった。

5 市川市消防局（千葉県）

【公共デジタルサイネージ（電子看板）への掲載「熱中症を予防しましょう」】



熱中症を予防しましょう

熱中症は予防が大事

暑さを避けよう

水分補給をしよう

バランスのよい食事
体調をととのえよう



こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう

- ・意識がおかしい
- ・自分で水分が取れない

取り組みに至る経緯

熱中症に起因する救急搬送傷病者が増加する時期に市内6箇所に設置されている公共デジタルサイネージ（電子看板）を活用し、熱中症の予防対策について広く多くの市民に効果的に市政情報を発信するために行ったもの。

コスト

デジタルサイネージについては、民間事業者と協定を締結し、設置・運用を行っている

設置費用については、筐体制作・設置工事費等委託料として、1台あたり約500万円を支払っている。

運用費用については、民間事業者が広告を募集し、その広告料をもって賄われており、市には民間事業者より、デジタルサイネージの一部分の貸付料が支払われる。

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

関係部局との調整を十分に行い、多くの市民に普及啓発を行えるよう心がける。

参考となるHPのリンク先等

市川市公式ホームページ

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/index.html>

6 川越地区消防局（埼玉県）

【市役所本庁舎等に設置されている大型モニターへ熱中症予防広報の放映・消防局オリジナル熱中症予防啓発ポスターの作成】



取り組みに至る経緯

市役所広報室より本庁舎等に設置されている大型モニターへ行政情報の放映募集があり、放映原稿を提出したもの（オリジナルポスターを組み込んだ原稿を使用）。

ポスターは公共施設及び管内路線バスに掲示し、多くの市民へ熱中症予防広報が実施できるため作成したもの。

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

市役所等にモニターがある消防本部であれば、窓口に来庁した市民の目に触れる機会があり、コストもかからないため、お勧めできる。また、オリジナルポスターは、モデルを当消防局の職員（救助隊）にすることにより、コストを抑え消防への理解も深まるため、お勧めできる。

7 川崎市消防局（神奈川県）

【JR 川崎駅構内放送による注意喚起】

(6 月中)

川崎市健康福祉局と消防局からお願いです。暑さに体が慣れていないこの時期は、熱中症に注意が必要です。気温が高い日は特に、喉の乾きを感じる前にこまめに水分補給をしましょう。体調のすぐれないお客さまがいらっしゃいましたら係員にお声掛け下さい。また、そのような方を見かけましたら、係員にお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。

(7 月・8 月中)

川崎市健康福祉局と消防局からお願いです。暑い日が続いています。熱中症にならないようにお気を付けください。喉の乾きを感じる前にこまめに水分補給と、適度な休憩を取りましょう。体調のすぐれないお客さまがいらっしゃいましたら係員にお声掛け下さい。また、そのような方を見かけましたら、係員にお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。

具体的内容

J R川崎駅構内で、令和元年6月1日～8月31日の営業時間終日、概ね15分間隔に一度、構内放送を実施。

取り組みに至る経緯

駅職員から駅利用者への注意喚起のあり方について相談があり、構内放送を行うこととなったもの。

コスト

なし

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

当市では、市民の健康増進を所管する保健所、都市環境の調査・研究を所管する環境局等と連携しながら熱中症に関する市民啓発を行っております。関係機関と連携することで効率的、かつ効果的に各機関の業務が遂行できるのではないかと思います。

参考となるHPのリンク先等





<http://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000049771.html>

8 甲賀広域行政組合消防本部（滋賀県）

【脱水状態確認用尿カラーチャート】

尿の色で脱水状態をチェックしましょう！

このカラーチャートは、あなたの脱水レベルを尿の色によって判定し、どの程度、水分補給すれば通常の状態に戻るかを示したものになります。熱中症予防のため、セルフチェックを行いましょ。

		正常です。 いつもの水分補給を心がけましょ。
		問題ありませんが、コップ1杯程度の水分補給をしましょ。
		軽度の脱水症状が認められます。 1時間以内に250mlの水分補給をしましょ。 屋外にいる場合や汗をかいている場合は、500mlの水分補給をしましょ。
		脱水症状が認められます。 今すぐに250mlの水分補給をしましょ。 屋外にいる場合や汗をかいている場合は、500mlの水分補給をしましょ。
		危険な状態です。 今すぐに1,000mlの水分補給をしましょ。 この色より濃い場合や赤／茶色が混じっている場合は、脱水症状以外の問題が考えられますので、病院で受診しましょ。

出典：Dehydration Urine Color Chart

甲賀広域行政組合消防本部・消防署

取り組みに至る経緯

昨年度、全国的に熱中症傷病者が多発し、本消防本部管内においても、例年の約2倍の傷病者が発生したことから、より身近な尿色を脱水状態の指標として確認を推奨することで、熱中症予防に活用して頂くために作成したものです。

コスト

なし

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

特になし

参考となるHPのリンク先等

「Dehydration Urine Color Chart」

9 名古屋市消防局（愛知県）

【日本郵便の「かもめタウン」を活用した熱中症予防啓発】



取り組みに至る経緯

2018年に日本郵便からの提示により取り組み実施

コスト

当局が実施する「かもめタウン熱中症予防啓発」に対し、賛同していただける企業からの協賛資金を基にはがきを作成、配達するため、当局のコストはゼロ

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

現在、日本郵便が消防機関に対し、当該事業を積極的に広めており、名古屋以外の指定都市も活用している。はがきというアナログ

スタイルではあるが、「消防署から暑中見舞いが届いた！」という喜びの声も届いており、読んでもらえる可能性は低くない。記載内容の具体性が高ければ、啓発の効果は期待できる媒体である。

ターゲットを明確にし、そのターゲットに促したいアクションを具体的に提示することが重要である。「熱中症に注意！」や「高齢者・子どもは熱中症になりやすいです！」だけでは読み手は行動に至らない。当市で熱中症の発生が一番多いのが、「屋内で発生した高齢者」でありこれがターゲット。「我慢せずにエアコンを使用してもらおう」が促したいアクションである。漠然と熱中症の注意喚起を行うのではなく、「エアコンの使用を促す」、「こまめな水分補給を習慣化させる」、「外出の際は涼しい場所を探すクセを身に付けさせ 30 分おきに休息を取らせる」など、促したい行動を強く印象付けることで結果、熱中症を防ぐことに繋がる。

参考となるHPのリンク先等

<http://www.city.nagoya.jp/shobo/page/0000084925.html>

10 新潟市消防局（新潟県）

【「にいがた子育て応援アプリ」を活用した予防啓発】



ホーム画面

～広報メッセージ例～

- 「熱中症から子どもを守りましょう！」
- ・小さな子どもは地面からの照り返しを受けやすい！
 - ・こまめに水分補給し、涼しい場所で休憩を！
 - ・外出時は涼しい服装にし、帽子をかぶらせる！
 - ・しっかりとした食事を摂ることで、適度な塩分補給を！
- また、市外で水難・転落などの子どもの事故が発生しています。大切なお子様から目を離さないようにしましょう。

具体的内容

気温が高い時等、救急需要を予測して上記アプリを通じて熱中症予防に関するメッセージを発信している。

取り組みに至る経緯

今年度から新潟市子供みらい部と連携し、熱中症に関する情報を発信している。その他、子育てに関するイベント、予防接種、感染症等の情報も発信している。

コスト

なし

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

なし

11 大崎地域広域行政事務組合消防本部(宮城県)

【カッティングシート、マグネット等を活用した予防啓発】



具体的内容

熱中症予防コンテンツや職員のアイデアにより作成されたメッセージをカッティングシート、マグネット、ラミネートで職員が自作し、様々な形に変え、より多くの場所で熱中症予防のメッセージを発信している。

取り組みに至る経緯

消防庁 HP に予防啓発コンテンツが掲載された頃から広報活動を行っており、それらを参考に職員のアイデアで様々なメッセージを作成し、毎年継続して実施している。

コスト

原材料費

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

なし

12 由利本荘市消防本部(秋田県)

【「ケーブルTV」を活用した予防啓発】



具体的内容

消防職員が出演し、熱中症予防についての説明をしているものを撮影し放送している。その他、総務省消防庁 HP へ掲載しているアニメ動画も活用し熱中症予防に関するメッセージを発信している。

取り組みに至る経緯

全国的にも熱中症による救急搬送が増加しており、管内でも熱中症による死亡事例が過去にあり、熱中症による救急搬送件数を減らすこと、重症者を減らすことを目的に昨年からは開始した。

コスト

市のケーブルTVを活用するため無料。

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

市民目線を心がけ、専門用語等は使用せずに広報していくことが大事である。

13 五泉市消防本部（新潟県）

【市民安心メールの配信・防災無線による予防啓発】

【高温注意報発令時】

総務課からのお知らせです。

ただいま、新潟県内に高温注意報が発表されています。

こまめな水分補給、温度調節に心がけ、熱中症に注意しましょう。

また、農作物の水管理など、充分ご注意ください。

【熱中症の注意喚起】

総務課からのお知らせです。

熱中症による救急搬送がありました。

こまめな水分補給、温度調節に心がけ、熱中症に注意しましょう。

具体的内容

五泉市安心メール登録者に向けて、高温注意報が発令された日や熱中症による救急搬送事案が発生した時に、メールで注意喚起のメッセージを発信している。併せて防災無線でも同じメッセージを発信しており、より多くの方へメッセージが届くようにしている。

取り組みに至る経緯

気温上昇、高齢化等により熱中症が増加傾向にあることから取り組みを開始。

コスト

なし（既存の設備、SNS を利用しているため）

他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

なし